

カムカムはっぴい

BANCHIMEISEKI KAMUKAMU HAPPY

発行元 株式会社 番地 銘石 青森市堤町1-3-16 フリーダイヤル 0120-75-1483

みなさん、こんにちは☆
今年の梅雨入りは平年より2週間ほど遅く、もう少しジメジメした日が続きます。梅雨明け後のカラッとした夏を楽しみに頑張りますよ♪ 熱中症には気を付けてくださいね!

さて、あと1カ月でお盆がやってきます。

今年も『お線香立ての砂・清砂』

プレセントキャンペーンを堤店、

月見野花店で実施いたします♪

ご先祖様をお迎えする前のご準備

にいかがですか？

詳細はのちほど！

では、カムカムはっぴい夏号スタート!



ペット霊園

春の合同供養祭

去る5月、月見野のペット霊園「つきかけの郷」にて春の合同供養祭を行いました。

前回に続き、和尚さんがお経をあげ、眠っている子たちの名前も全て読み上げていただきました。



おつとめの後、ご家族の方々と少しお話をする時間を設け、在りし日の小さな家族のお話を伺っていました。近年、ペットの種類も多様化し、犬や猫、鳥以外でもうさぎやイグアナなどなど：さまざまなペットがこれかから一緒に眠る可能性があるね、なんだか賑やかになるねえ、という話題になりました。

昔はペットとして一緒に暮らすという発想が薄かったような種類でも、飼うことができようになるようになってきます。

お世話が大変なことも多々あるかとは思いますが、縁あって来てくれた子たちがそれぞれ暮らしやすいように、しあわせに生きられるように見てあげたいものです。

お墓の豆知識(4)

今回のお墓の豆知識は日蓮宗についてです。

宗祖は日蓮上人であり、宗派名に宗祖の名前を冠するほど日蓮上人の存在意義が教義に大きく反映していると思われれます。



日蓮上人

日蓮は貞応元年(1222年)安房国(現在の千葉県)に生まれ、12歳で天台宗清澄寺に入り16歳で得度します。21歳の時に比叡山へ

上り、教えを求めて園城寺や高野山などへも訪れます。こうした修行研鑽を11年間続け、ついに、「お釈迦様の最高の教えである法華経こそが、救いのよりどころとなる唯一の經典である」という確信を得ました。

法華経には「法華経を広めようとする行者は難にあり」という予言が書かれており、日蓮は数々の難に遭い、龍の口の法難（文永8年／1271年）では斬殺寸前になるなど死の危険にさらされることもありました。その後佐渡へ流罪となり、文永11年（1274年）にゆるされた日蓮は身延山に入り、61歳で生涯を閉じるまで著作と後進の育成につとめました。

◆「建墓」

「墓参」「回向」◆

「回向」とは、墓前で「南無妙法蓮華経」とお題目を唱えて、その功德を亡き人に振り向け即身成仏させ、亡き人の菩提を弔い、日蓮の説く靈山浄土へ往生させることを言います。

そのためにはお墓がなければならず、日蓮自身も亡くなったら身延山にお墓をつくってほしいと遺言していました。

「建墓」し、縁者・知人が折にふれて「墓参」して亡き人を弔い、「回向」することが最も大切だと日蓮が強く考えていたことが現在までに伝わっているようです。



☆ご来店

プレゼント☆

お盆が近づき、お墓の掃除に行かれる方が増えてきたと思います。

香炉の砂が汚れていたり、固まっていたなあと気になってはいませんか？

カムカムはつぴい夏号をお送りした封筒をご持参の方に雨が降っても固まりにくいと人気の香炉用の砂『清砂』をプレゼントいたします。



お出かけの際は封筒を忘れずにお持ちくださいませ。

堤本店、月見野花店で受付しております。

H 27年 8月末日まで

ほのぼの育児日誌

スタッフじゆいこの



みなさん、こんにちは。5月に小学校の運動会がありました。運動会の何日か前に、「リレーの選手にはなれなかつたよー」と話していた息子。足は速くないので、そうだろうなあとは思っていましたが、徒競走と障害物競走を頑張つて送り出し、いざ応援！

徒競走はスタートで出遅れ、見事に最下位…。

途中で諦めたのか若干流し気味でゴールしてました。まだまだ競争心というものが低いようです。

障害物競走は速い子と一緒にでも運がよければ3位までには入るかも！と希望を抱き応援♪
障害物も難なくこなし、このままいけば3位！と思つたゴール間近でまた流し気味に走り、後から全力で走つて来た子に抜かれ4位という結果に…。



入賞できなかつた子ども達は、「こころの1等賞」という賞を先生からいただきました。

一所懸命に走つたり、みんなのために応援したりすることも大事ですからね。私も小学生の時にそういう賞をいただけてました。やはり運動音痴は私の血を引いてます（笑）

最後に…。

「来年のために走る練習しようか？」と主人が息子に問いかけたところ、「いらぬ」と淋しい一言が返ってきたそうです（笑）
来年も「こころの1等賞」かなあ???



編集後記

発売から1カ月が経つプレミアム商品券。当社は500円券・1000円券ともにご利用いただけます。ぜひ、どうぞ～☆